

Enterprise Architect 13.0 機能一覧

2017/02/22現在

本資料には、Enterprise Architectの機能一覧・対応エディションを記載しています。

[各エディションの概要はこちらをご覧ください。](#)

<エディションの欄の記号について>

○: 対応しています

△: 別売りのアドイン・製品を購入する必要があります

×: 対応していません

<エディションの略称>

D : Enterprise Architectデスクトップ版



P : Enterprise Architectプロフェッショナル版





C : Enterprise Architectコーポレート版

SB: Enterprise Architect Suiteビジネスモデリング版

SS: Enterprise Architect Suiteシステムエンジニアリング版


SU: Enterprise Architect Suiteアルティメット版






モデリング		エディション						利用のために必要な情報
記述できるモデルの種類		D	P	C	SB	SS	SU	
UML	UML2.5	○	○	○	○	○	○	
状態遷移表	状態遷移表	○	○	○	○	○	○	
ICONIX	ロバストネス図	○	○	○	○	○	○	
データベース	データベースモデリング図 (DB2・InterBase・Informix・Ingres・MS Access・MySQL・MS SQL Server・SQLite・Oracle・PostgreSQL・Sybase ASE・ASA・Firebird)	○	○	○	○	○	○	DBModeで機能追加可能 
	実体関連図	×	×	○	○	○	○	
データフロー図	データフロー図 (DFD)	○	○	○	○	○	○	
Webモデリング	XMLスキーマ	○	○	○	○	○	○	
	Webモデル	○	○	○	○	○	○	
	WSDLモデル	○	○	○	○	○	○	
BPMN	BPMN1.0・BPMN1.1・BPMN2.0	○	○	○	○	○	○	
フローチャート図	フローチャート	○	○	○	○	○	○	
	産能大式フローチャート	○	○	○	○	○	○	
ソフトウェアプロセス	SPEM 2.0	○	○	○	○	○	○	
	プロセスフロー図 (PFD)	○	○	○	○	○	○	
ガントチャート	ガントチャート	○	○	○	○	○	○	
戦略モデリング	バランススコアカード・戦略マップ・バリューチェーン・デシジョンツリー・組織図	○	○	○	○	○	○	
システム設計	SysML 1.1・1.2・1.3・1.4	△	△	△	△	○	○	△:別売りアドインが必要 
ビジネスモデリング	ビジネスルール	×	×	×	○	×	○	
ハードウェア記述言語 (HDL)	SystemC・VHDL・Verilog・Ada	×	×	×	×	○	○	
画面設計	汎用 画面設計図	○	○	○	○	○	○	
	Win32画面設計図	×	○	○	○	○	○	
	ワイヤフレーム (Android, iOSなど)	○	○	○	○	○	○	

その他	ホワイトボード	○	○	○	○	○	○	
	USDM	○	○	○	○	○	○	Webサイトからダウンロードしてインストールが必要
	構造図 (Structure Chart)	○	○	○	○	○	○	
	エリクソン・ベンカー図	○	○	○	○	○	○	
	Archimate 1.0・2.1・3.0	○	○	○	○	○	○	
	SOMF 2.1	○	○	○	○	○	○	
	ArcGIS	×	○	○	○	○	○	
	GML 3.3	○	○	○	○	○	○	
	UMM 2.0・NIEM・UPCC 2.0および3.0・UBL 2.1	○	○	○	○	○	○	
	ODM (Ontology Definition Metamodel)	○	○	○	○	○	○	
	SoaML	×	×	○	○	○	○	
	GSN (Goal Structure Notation)	○	○	○	○	○	○	Webサイトからダウンロードしてインストールが必要
	Zachman Framework	×	△	△	○	△	○	△:別売りアドインが必要  Zachman Framework MDC Technology
	UPDM (DoDAF/MODAF)	×	△	△	○	△	○	△:別売りアドインが必要  UPDM MDC Technology
	TOGAF	×	△	△	○	△	○	△:別売りアドインが必要  TOGAF MDC Technology
	DDS (Data Distribution Service)	×	△	△	△	○	○	△:別売りアドインが必要  DDS MDC Technology
	SCDL (Safety Concept Description Language)	○	○	○	○	○	○	Webサイトからダウンロードしてインストールが必要
フォルトツリー図 (FTA)	○	○	○	○	○	○		

モデリング時の便利な操作・機能		D	P	C	SB	SS	SU	利用のために必要な情報
クイックリンク・ショートカットキーによる容易な操作		○	○	○	○	○	○	
自動レイアウト		○	○	○	○	○	○	
条件を指定してダイアグラム内の要素をフィルタ表示		○	○	○	○	○	○	
トレーサビリティの定義と参照 (関係マトリックス・トレーサビリティサブウィンドウ)		○	○	○	○	○	○	
ステートマシン図と状態遷移表の相互変換		○	○	○	○	○	○	
ユースケースシナリオからアクティビティ図・シーケンス図などの自動生成		○	○	○	○	○	○	
既存のUMLプロファイルの利用		○	○	○	○	○	○	
既存のUMLパターンの利用		○	○	○	○	○	○	
モデル内検索		○	○	○	○	○	○	
ギャップ分析マトリックス		×	×	○	○	○	○	
チャート要素の利用		○	○	○	○	○	○	
カンバン		○	○	○	○	○	○	
要素ごとの掲示板 (ディスカッション)		×	×	○	○	○	○	
外部ファイルとモデルをリンク		○	○	○	○	○	○	
外部ファイルをモデル内に埋め込み		×	○	○	○	○	○	
モデル評価		○	○	○	○	○	○	
さまざまな機能		エディション						
チーム開発		D	P	C	SB	SS	SU	利用のために必要な情報
モデルの共有	モデルのバージョン管理	○	○	○	○	○	○	
	プロジェクトファイル(.EAP)の共有 (同じモデルに対する複数人数での同時編集)	×	○	○	○	○	○	
	モデルをデータベースシステム(SQLServer・Oracleなど)に保存/同時編集	×	×	○	○	○	○	
	モデルの編集の排他管理(ロック)	×	×	○	○	○	○	
	機能やモデルへのアクセス制限・管理 (アクセス権)	×	×	○	○	○	○	
	モデルの監査 (操作内容をログとして記録)	×	×	○	○	○	○	
	モデルの差分比較・マージ	×	○	○	○	○	○	
	ダイアグラム上で視覚的に差分比較・マージ	×	×	○	○	○	○	
	クラウドサーバの利用	×	×	○	○	○	○	
モデルの入出力	XMI1.0～2.4.2形式でのモデルの読み込みと出力	○	○	○	○	○	○	
	CSV形式の読み込みと出力	○	○	○	○	○	○	
	ECore	○	○	○	○	○	○	
	BPMN 2.0 XML	×	○	○	○	○	○	
	XPDL 2.2	×	○	○	○	○	○	
	ArcGIS	×	○	○	○	○	○	
	EMX形式・UML2形式の読み込み	○	○	○	○	○	○	
	Rhapsodyファイル (.rpy) の読み込み	○	○	○	○	○	○	

ドキュメント生成			D	P	C	SB	SS	SU	利用のために必要な情報
ドキュメント生成 (DOCX, PDF, RTF, HTML形式)			○	○	○	○	○	○	
図の内容を他のアプリケーション (Wordなど) に画像として貼り付け			○	○	○	○	○	○	
図の内容をPDF形式で出力			○	○	○	○	○	○	
個別の要素にドキュメントを保持 (付属ドキュメント)			×	○	○	○	○	○	
さまざまな形式についての生成・読み込み			D	P	C	SB	SS	SU	利用のために必要な情報
UML	C・C++・Java・C#・VB.NET	クラス要素→ソースコード	×	○	○	○	○	○	
		ソースコード→クラス要素	×	○	○	○	○	○	
		状態マシン図・アクティビティ図・シーケンス図→ソースコード	×	×	×	○	○	○	
	VisualBasic・Delphi・PHP・Python・ActionScript	クラス要素→ソースコード	×	○	○	○	○	○	
		ソースコード→クラス要素	×	○	○	○	○	○	
	JARファイル	JARファイル→クラス要素	×	○	○	○	○	○	
	.NETアセンブリ	.NETアセンブリ→クラス要素	×	○	○	○	○	○	
	SystemC・Verilog・VHDL・Ada	クラス要素→ソースコード	×	×	×	×	○	○	
		ソースコード→クラス要素	×	×	×	×	○	○	
状態マシン要素→ソースコード		×	×	×	×	○	○		
データベース	データベースモデリング図からDDLの生成		×	○	○	○	○	○	
	ODBC経由での既存のデータベーススキーマの読み込み		×	○	○	○	○	○	
	既存のデータベースとの差分比較とマージ		×	×	○	○	○	○	
Web	XMLスキーマからXSDの生成・既存のXSDファイルの読み込み		×	○	○	○	○	○	
	WSDLの生成と読み込み		×	○	○	○	○	○	
スキーマコンポーザー	CIMやNIEMなどのメッセージスキーマ・JSONスキーマの生成		×	×	○	○	○	○	
ビジネスモデリング	BPMNモデルからBPEL生成		×	×	×	○	×	○	
	ビジネスルールから実装を含むソースコード生成		×	×	×	○	×	○	
シーケンス図自動生成			D	P	C	SB	SS	SU	利用のために必要な情報
デバッグ版を動作させて、シーケンス図の自動生成			×	○	○	○	○	○	
テスト関連			D	P	C	SB	SS	SU	利用のために必要な情報
ユースケースシナリオからテスト項目の自動生成			○	○	○	○	○	○	
JUnit/nUnitとの連携 (モデル変換機能を利用)			×	○	○	○	○	○	
デバッグ			D	P	C	SB	SS	SU	利用のために必要な情報
Enterprise Architect内部でデバッグ			×	○	○	○	○	○	
ビルド・実行・テストの定義と実行			×	○	○	○	○	○	
XSLTのデバッグ			×	○	○	○	○	○	

シミュレーション	D	P	C	SB	SS	SU	利用のために必要な情報
モデルシミュレーション (ステートマシン図・アクティビティ図・シーケンス図)	×	×	○	○	○	○	
BPMN 2.0モデルのシミュレーション	×	×	×	○	×	○	
SysML パラメトリック図のシミュレーション	×	△	△	△	○	○	△:別売りアドインが必要 
SysML OpenModelicaとの連携シミュレーション	×	×	×	×	○	○	
モデルに関連する情報	D	P	C	SB	SS	SU	利用のために必要な情報
ユースケースシナリオ	○	○	○	○	○	○	
ユースケースポイントによるプロジェクトの工数見積もり	○	○	○	○	○	○	
要素ごとにテスト項目・変更点・問題点・バグ・ToDoの登録	○	○	○	○	○	○	
要素ごとにタスクの割り当てと進捗情報登録	×	○	○	○	○	○	
プロジェクトの問題点の登録	○	○	○	○	○	○	
プロジェクトの用語集の登録	○	○	○	○	○	○	
用語集の用語の自動認識	○	○	○	○	○	○	
チームレビュー (掲示板)	×	○	○	○	○	○	
他のプロジェクトのチームレビュー参照	×	×	○	○	○	○	
スケジュール管理 (プロジェクトのカレンダー機能・プロジェクトのタスクの管理)	×	×	○	○	○	○	
モデル変換	D	P	C	SB	SS	SU	利用のために必要な情報
モデル変換 (C#・DDL・EJB・Java・WSDL・XSD)	×	○	○	○	○	○	
カスタマイズ・機能拡張				エディション			
ユーザーインターフェース	D	P	C	SB	SS	SU	利用のために必要な情報
ユーザーインターフェースのカスタマイズ (サブウィンドウ・ツールバー・メニュー・ショートカットキー・ツールボックス)	○	○	○	○	○	○	
検索ルール	D	P	C	SB	SS	SU	利用のために必要な情報
検索ルールのカスタマイズ	○	○	○	○	○	○	
生成・変換ルール	D	P	C	SB	SS	SU	利用のために必要な情報
ドキュメント生成テンプレート(ルール)のカスタマイズ	○	○	○	○	○	○	
ソースコード生成テンプレート(ルール)のカスタマイズ	×	○	○	○	○	○	
モデル変換ルールのカスタマイズ	×	○	○	○	○	○	
モデルの表現	D	P	C	SB	SS	SU	利用のために必要な情報
UMLプロファイルの作成	○	○	○	○	○	○	
パターンの作成	○	○	○	○	○	○	
要素の外見の定義 (描画スクリプト)	○	○	○	○	○	○	
カスタマイズした情報の管理	D	P	C	SB	SS	SU	利用のために必要な情報
独自定義のモデルや設定(MDGテクノロジー)の利用	○	○	○	○	○	○	
独自定義のモデルや設定(MDGテクノロジー)の作成	×	○	○	○	○	○	

機能拡張	D	P	C	SB	SS	SU	利用のために必要な情報
APIを利用したアドイン・アプリケーションの作成による独自の機能追加	○	○	○	○	○	○	
スクリプトによる機能追加	×	×	○	○	○	○	
アドイン作成による評価機能強化	×	○	○	○	○	○	
他ツールとの連携							エディション
Enterprise Architectと連携するツール名	D	P	C	SB	SS	SU	利用のために必要な情報
要求管理ツールRaQuest	△	△	△	△	△	△	要求管理ツールRaQuest 
データベース設計支援ツールDBMode	×	△	△	△	△	△	データベース設計支援ツール 
Trac	△	△	△	△	△	△	Enterprise Architect-Trac連携アドイン
Redmine	△	△	△	△	△	△	Enterprise Architect-Redmine連携アドイン
Visual Studio 2005～2013	×	△	△	○	○	○	MDG Integration for VisualStudio 
Eclipse	×	△	△	○	○	○	MDG Integration for Eclipse 
DOORS	×	△	△	△	△	○	MDG Link for DOORS 
その他							エディション
フローティングライセンスの購入・利用が可能	×	×	○	○	○	○	